

## ミニ・ラグビー ルール問題（1）

○ 正解 × 不正解 △ どちらでもある

### I. 基本的事項

1. ミニでは試合中、ヘッドキャップを着けていなければならない。

判定 ○ × △

罰則

2. ゴールラインとタッチインゴールラインはインゴールである。

判定 ○ × △

罰則

3. プレーヤーはレフリーの判定に反論してはならない。

判定 ○ × △

罰則

4. ボールまたはボールキャリアーがレフリーに触れた場合は笛を吹かなければならない。

判定 ○ × △

罰則

5. 上記に関連してインゴールであった場合はどうか。

判定 ○ × △

罰則

6. ラインアウトでクイックスローがおこなわれたとき、判定はレフリーがする。

判定 ○ × △

罰則

## II. アドバンテージ

1. アドバンテージの適用はプレーを円滑に継続させるためである。

判定 ○ × △

罰則

2. ボールまたはボールキャリアーがレフリーに触れた場合、アドバンテージは適用しない。

判定 ○ × △

罰則

3. アドバンテージは得た側に地域的利益または戦術的利益を与える。

判定 ○ × △

罰則

4. アドバンテージを適用しているとき、相手側が重度な反則をしたときは重度な反則（ペナルティ）を優先する。

判定 ○ × △

罰則

## III. 得点方法

1. ゴールキックのとき、ボールがクロスバーを越えても風などで吹き戻されればゴールは認められない。

判定 ○ × △

罰則

2. ゴールキックは準備時間を除いて1分以内に行なわなければならない。

判定 ○ × △

罰則

3. キッカーがゴールキックのためのスタートをしたときボールが倒れたので置きなおした。

判定 ○ × △

罰則

4. ゴールキックのとき、キッカー以外はボールの後ろにいないなければならない。

判定 ○ × △

罰則

#### IV. 不正なプレー

1. 故意に味方のボールキャリアーの前方に立つのはオブストラクションである。

判定 ○ × △

反則

2. ボールキャリアーが前方の味方のプレーヤーの中へ走るのはオブストラクションである。

判定 ○ × △

罰則

3. タッチなどへ手を使って故意にボールを出してはいけない。

判定 ○ × △

罰則

4. 相手プレーヤーに対し（拳，腕，肘，肩，頭，膝）を使って殴った。相手は殴りかえしてきた。殴り返したのは報復行為なので反則をとった。

判定 ○ × △

罰則

5. ボールを持っている相手プレーヤーを肩でタッチに押し出した。

判定 ○ × △

罰則

レイトタックル（遅い），アーリータックル（早い），ノーボールタックル，ハイタックル  
足で踏みつける（スタンピング），足で蹴る，足でつまずかせる。

空中にあるプレーヤーに対するタックル。

ラインアウトでは飛びあがっているプレーヤーに対してのタックル（片足，両足），はらったり，押したり，ひっぱってはいけない。

